

文献の書き方

文献は、先行研究との比較を通じて、自身の研究の必要性や意義を説明することができ、リサーチギャップを明確にすることで、研究の新規性をアピールすることに役立つ。また、適切な文献の引用は、研究の信頼性を高め、客観的な根拠に基づいた議論の展開にも有用である。そのため、引用文献の選択と分析は、研究の質を左右する重要な要素と言える。

以上のように、研究における文献は、研究の基盤を築き、その正当性と新規性を証明する上で不可欠であることを念頭に置き、以下にしたがって誤りなく記載することが期待される。

正しく引用しなければ、不正行為とみなされ、研究の倫理違反となる。自身の研究者としての信頼に関わる重大事項であることも心得ておく。

※不正行為に関しては投稿規程の4にも記載あり。

1. 引用の際の注意

1) 正しく引用するためには、以下が必要になる。

- (1) 本文中に引用した記述は、どこからどこまでかを明示する。
- (2) その出典を明記する。

2) 引用方法の種類

- (1) 直接引用: 引用した著作物本文の内容は変更せず、短文(100文字程度)を引用する。
- (2) ブロック引用: 引用した著作物本文の内容は変更せず、長文(100文字以上)を引用する。
- (3) 間接引用: 短文、長文に関わらず、著作物本文の内容を自分で要約や改変して引用するやり方がある。

2. 引用の方法

- 1) 本文中に文献からの引用文を用いる場合は、APA(Publication Manual of the American Psychological Association ;7th edition)方式に準拠する。

【参考・引用】

American Psychological Association. (2025). About APA Style. Retrieved April 10, 2025, from <https://apastyle.apa.org/about-apa-style>

三田図書館・情報学会. (2024 年 7 月 2 日改訂). 揭示規則: 引用文献記載例. from <https://www.libinformsci.com/submit/index.html>

2) 引用の書き方

(1) 本文中の書き方

①本文中の引用箇所には、「(著者の姓, 西暦文献発行年, 引用ページ)」をつけて記載する。

例えば、「著者(2024)は～と述べている。」、もしくは、「～と述べている(著者,2024)。」と記載する。詳細は、表に記載されている「基本的な引用スタイル」を参照する。

②本文中の引用に含める著者の数

- ・著者が1人または2人の場合は、全ての引用に著者名を記載する。
- ・著者が3名以上の場合は、すべての引用(最初の引用も含む)に、最初の著者名と「ほか」あるいは「et al.」のみを記載する。
- ・著者が不明の場合には、タイトルと出版年を記載する。

表 基本的な引用スタイル

著者のタイプ	カッコ内の引用	説明の引用
著者1名	(金子, 2020) (Luna, 2020)	金子(2020) Luna(2020)
著者2名	(金子・岡田, 2020) (Salas & D'Agostino, 2020)	金子・岡田(2020) Salas and D'Agostino(2020)
著者3人以上	(金子ほか, 2020) (Adams et al.,2020) (Martin et al., 2020)	金子ほか(2020) Martin et al. (2020)
グループ著者(略称あり) 最初の引用 その後の引用	(日本精神科看護協会[JPNA], 2020) (JPNA, 2020)	日本精神科看護協会(JPNA, 2020) JPNA(2020)
グループ著者(略称なし)	(日本精神大学, 2020)	日本精神大学(2020)

(2) 文末の「参考文献リスト」の書き方

- ・参考文献のリストには、本文中で引用あるいは参照した文献のみ記載する。
- ・参考文献は、論文(原稿)の最後に、著者名のアルファベット順に、和文誌、英文誌で分けず一括して列記する。
- ・記号はいずれも半角とし、後ろに半角スペースを入れる。ただし「&」については前にも半角スペースを入れる。
- ・日本語雑誌名は医中誌略誌名(医学中央雑誌刊行会)に、国際雑誌名は Index Medicus(アメリカ国立医学図書館)のタイトル略記(NLM Title Abbreviation)の所載に従う。ただし、両データベースに収録されていない場合は、雑誌のフルタイトルを表記する。

①雑誌論文の場合

基本形

著者名.	(刊行年).	論文タイトル.	雑誌名,	巻(号),	最初のページ-最後のページ.	DOI
Author	Date	Title	Source			

《記載例》

谷口祥一. (2022). JAPAN/MARC 書誌レコードからNCR2018 エlementベースのメタデータへの変換. Library and Information Science, 88, 49-71. <https://doi.org/10.46895/lis.88.49>

(DOIとは、Digital Object Identifierの略で、インターネット上のデジタルコンテンツに付与される永続的な識別子のことである。論文のDOIは、通常、論文の最初の1ページ、ヘッダーまたはフッター、もしくは記事の末尾に記載されている。)

糸賀雅児. (1991). 情報利用における「意味」と「理解」: 「意味付与」概念にもとづく情報ニーズの再検討. Library and Information Science, 29, 1-19.

(本タイトルと副タイトルは原著での表記に関わらず、半角コロン(:)で区切る。)

根本彰, 三浦太郎, 中村百合子, & 古賀崇. (1999). 政策文書に見るGHQ/SCAP 民間情報教育局の図書館政策. 東京大学大学院教育学研究科紀要, 39, 453-478.

(和文論文の著者の間はコンマ(,)で区切る。最後の著者はその直前の著者と「&」でつなぐ。

著者や編者が20 名以下の場合は全員の名前を記載する。21 名以上の場合には、第1著者から第19著者までを書き、3 点リーダー(...)を置いて第20著者以降を省略し、最後の著者を書き、合計20名を記載する。)

②雑誌の特集記事の場合

基本形

(刊行年).	特集のテーマ.	雑誌名,	巻(号),	最初のページ-最後のページ.
Date	Title	Source		

《記載例》

(2005). 特集 NPM と社会政策. 社会政策研究, 5, 7-145.

(特集の中の1記事の場合は、雑誌論文として記載する。)

③-1 図書の場合

【著書の場合】基本形

著者名.	(出版年).	書名.	出版社.
Author	Date	Title	Source

《記載例》

西垣通. (2004). 基礎情報学: 生命から社会へ. NTT出版.

上山信一, & 稲葉郁子. (2003). ミュージアムが都市を再生する: 経営と評価の実践. 日本経済新聞社.

(複数の著者はコンマ(,)で区切る。最後の著者はその直前の著者と「&」でつなぐ。)

【編集されている場合】

基本形

編者名, &編者名(編).	(出版年).	書名(版数).	出版社.
Editor	Date	Title	Source

《記載例》

上田修一, & 倉田敬子 (編). (2017). 図書館情報学 (第2版). 勁草書房.

(編者が20 名以下の場合は全員の名前を記載する。版次は書名の後に記載する。)

田村俊作 (編著). (2001). 情報探索と情報利用. (図書館・情報学シリーズ, 2) 勁草書房.

(シリーズ名は省略する。記載する必要がある場合は、書名の後に丸括弧に入れ、シリーズ名とその番号との間はコンマ(,)で区切る。)

③-2 図書の一部の場合

基本形

著者名.	(出版年).	該当章の題名.	In 編者名(編).	書名	(pp. 該当章の最初のページ-最後のページ).	出版社.
Author	Date	Title	Editor	Title	Source	

《記載例》

森岡倫子. (2000). 電子雑誌. In 倉田敬子 (編), 電子メディアは研究を変えるのか (pp.173-207). 勁草書房.

荻原幸子. (2003). ニュー・パブリック・マネジメント論と公共図書館経営論. In 図書館の経営評価: パフォーマンス指標による新たな図書館評価の可能性 (pp. 3-28). 勉誠出版.

(編者が団体のため省略している場合)

池谷のぞみ. (2001). 第1 章 生活世界と情報. In 情報探索と情報利用 (pp. 41-90). 勁草書房.
(章の見出しを記載している場合)

④翻訳書の場合

基本形

原著者.	(原著出版年).	原書名.	原書出版社.	原書の日本語表記.	(出版年).	翻訳書名.	翻訳者名(役割).	翻訳書の出版社.
------	----------	------	--------	-----------	--------	-------	-----------	----------

《記載例》

Brown, J. S., & Duguid, P. (2000). The social life of information. Harvard Business School Press.
(ブラウン, J. S. (2002). なぜIT は社会を変えないのか. 宮本喜一 (訳). 日本経済新聞社.)

⑤ウェブ資料の場合

基本形

著者.	(公開日).	ウェブページタイトル.	URL	(検索日: 年-月-日).
Editor	Date	Title 斜体	Source	Date

《記載例》

University of Cambridge, Computer Laboratory. (n.d.). *Suggested student project: Identification of medieval scribal handwriting*. Retrieved August 3, 2023, from

<http://www.cl.cam.ac.uk/users/jgd1000/scribes.html> (検索日: 2025-08-09)

(機関によるウェブページで著者の記載がない場合は、機関を著者として記載する。作成・公開日付が不明のときは「(n.d.)」と記載する。ウェブページの内容が時間の経過で変わることが予期され、アーカイブに保存されない場合には、アクセス日付を記録する。アクセス日付は和文欧文で同じ書き方で例えば、Retrieved June 25, 2024,のように記載する。Web ページのタイトルを斜体にする。)

宮田洋輔. (2022). 図書館情報学英語論文における描出の変遷 [パワーポイントスライド].

Figshare. <https://doi.org/10.6084/m9.figshare.21546918.v1> (検索日: 2023-06-10)

(公開されているパワーポイントスライド。タイトルの後に[]に入れて情報資源の種類を示す。)

国立国会図書館. (2022 年3 月24 日). 納本のご案内(地方公共団体の皆様へ) [動画].

YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=7DxJ7g6-at8> (検索日: 2024-08-09)

(YouTube 動画。タイトルの後に[]に入れて情報資源の種類を示す。)